

作成日 平成22年3月5日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：業務用 虫コナーズスプレータイプ(ガラス用)

用途：

(適用害虫及び効能)

ユスリカ・ガ・ヨコバイ・羽アリ・アリ・ダンゴムシ・クモ・ムカデ・ゲジゲジなどの不快害虫の殺虫及び忌避

(用法及び用量)

窓ガラスの屋外面に対し、使用する。

ボタンを噴射箇所に向け、30 cm 程度離して、均一に濡れる程度に噴射する。

噴射の目安は1 m²あたり約6秒。

会社名：大日本除虫菊株式会社

住所：大阪市西区土佐堀1丁目4番11号

担当部門：お客様相談室

電話番号：06-6441-1105

整理番号：1271

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性：通常の使用において危険はない。高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、火気の付近及び高温になる場所に置くと破裂・爆発する可能性がある。水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。(高圧ガス保安法において高圧ガス適用除外)

エアゾール原液：危険物第4類アルコール類、危険等級 (GHS分類は区分2)

健康有害性：飲み込むと有害のおそれ (GHS分類では分類できない)

環境有害性：水生生物に対して毒性を示す成分を含む。

(シフトリンのGHS分類は水生環境有害性(急性)区分1)

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

(有効成分：シフトリン、その他の成分：イソプロパノール、LPG、ジメチルエーテル等)

成分：シフトリン(ピレスロイド系殺虫剤)

(上記混合物を容器に充填し、エアゾール剤としたもの)

化学名：(R,S)- α -シアノ-4-フルオロ-3-フェニルペンチル-(1RS,3RS:1RS,3SR)-(2,2-ジクロロエチル)-2,2-ジメチルシクロプロパノール

化学式： $C_{22}H_{18}Cl_2FNO_3$

官報公示整理番号：化審法 (3)-4123、安衛法 4-(7)-1541

CAS No. : 68359-37-5

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し安静保温につとめる。酸素吸入を行う。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：水でよく洗い、石鹸を使ってよく落とす。

目に入った場合：流水で十分に洗い流し、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄したあと、コップ数杯の水を飲ませ希釈し、可能であれば指を喉に差し込んで吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。
患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、砂

消火方法 : エアゾール周辺で火災が起きた場合、エアゾールを安全な場所に移動させる。それが不可能な場合は注水して冷却する。

6. 漏出時の措置

水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。

風下の人を退避させ、付近の火気に充分注意すると共に、通風等により換気を良く行う。漏出液を乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

(注意事項)

[使用に際しての注意]

- (1) 使用前に必ず製品表示を読み、十分理解した上で使用する。
- (2) 定められた使用法を必ず守る。
- (3) アレルギー体質やかぶれなどを起こしやすい体質の人、喘息の症状がある人は薬剤を吸い込んだり、触れたりしない。
- (4) 噴射対象となるガラス面については、雑巾による水拭きをし、十分に乾いた後に使用する。クモの巣などがある場合、取り除く。
- (5) 人体用ではないので人体には使用しない。
- (6) 皮膚、飲食物、食器、おもちゃ、ペット類(観賞魚、小鳥など)、植物(植木、盆栽、草花など)、飼料にはかからないようにする。
- (7) 安全のために、保護具(保護メガネ、保護マスクなど)を必ず着用して使用する。
- (8) 同一箇所に集中して噴射すると曇りの原因になるので注意する。
- (9) ニス等の塗装面・アクリル製品・プラスチック製品・合成樹脂には使用しない。
- (10) 大理石や御影石等の石材、しゅくい、白木、自動車などの塗装面に薬剤が付着した場合、変色、変形することがあるので、かからないように注意する。
- (11) 引火の恐れがあるので、火気のある場所では取り扱わない。
- (12) 魚に対して毒性があるので水槽や池などに噴射気体が入らないように注意する。

[使用中、使用後の注意]

- (1) 本品は、30秒以上連続噴射しない。
- (2) 保護具を必ず着用し、身体の露出部を少なくして薬剤を浴びないようにするとともに、噴射気体をできるだけ吸入しない。
- (3) 本剤の使用中には、喫煙、飲食をしない。
- (4) 皮膚に付いたときは、石鹸と水でよく洗い、水でうがいをする。
- (5) 万一、身体に異常を来たした場合や、誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに使用を中止し、本剤がピレスロイド系の殺虫剤であることを医師に告げて診療を受ける。
- (6) 眼に入らないように注意する。万一、誤って入った場合は直ちに水でよく洗い、異常があれば眼科医の手当てを受ける。
- (7) 噴射場所に雨や水がかかると効果が減少する。その場合は再度、噴霧塗布する。
- (8) 使用時には、噴射場所の周囲、特に風下に人がいないことを確認し、風上から噴射する。
- (9) 噴霧がこもりやすい場所では換気する。
- (10) 炎(火源)に向かって噴射しない。

[保管上の注意]

- (1) 小児の手の届かない場所に保管する。
- (2) 火気を避け、なるべく冷所に保管する。
- (3) 水回りや湿気の多い場所に置くと缶が錆びて破裂する危険があるので置かない。
- (4) 直射日光の当る所、夏場の車内、ファンヒーターなどの暖房器具や加熱源の周囲は温度が上がり破裂する危険があるので置かない。

[廃棄上の注意]

ゴミとして出すときは、火気のない通気性のある屋外で噴射音が消えるまでボタンを押してガスを抜き、地域の規則に従って出す。

8. 暴露防止及び保護措置

定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従って使用する。
噴射気体を、吸入しない。

9. 物理的及び化学的性質

(エアゾール原液)

物理的状态 形状：液体 色：淡黄色 臭い：特異なにおい
密度：0.788 (20)
引火点：13

10. 安定性及び反応性

安定性：室温において安定。
反応性：なし。

11. 有害性情報

急性毒性(シフルトリン原体の情報)

経口(マウス) LD50 : 271mg/Kg 、 430mg/Kg
経皮(マウス) LD50 : >2000mg/Kg
吸入(ラット) LC50 : 0.5mg/L 空気中(エアゾール)

局所効果(シフルトリン)

皮膚刺激性： なし
眼刺激性： 軽度
皮膚感作性： 軽度(人体では認めず)

12. 環境影響情報 (シフルトリン原体の情報)

魚毒性 LC50 : 0.00047 mg/L (ジマ 96h)
魚介類に対し毒性があるので、水槽や池などに噴霧が入らないように注意すること。
植物に噴霧すると薬害を生じることがある。

13. 廃棄上の注意

- ・捨てる時は、火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜く。
- ・火の中に入れてない。
- ・使い切って捨てる。

14. 輸送上の注意

国連分類：クラス2.1 (引火性ガス) : 国連番号1950(エアロゾール類)
輸送の特定の安全対策及び条件：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。温度の上昇を防止する。また、火気の付近に置かない。

15. 適用法令

消防法：危険物第4類アルコール類、危険等級 (エアゾール原液)
危険物船舶運送及び貯蔵規則：クラス2.1 (引火性ガス)
高圧ガス保安法：(高圧ガス適用除外)

16 . その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従ってご使用下さい。

作成日 平成 2 2 年 3 月 5 日